

母教会の礼拝に Zoomで参加してます

バングラデシュでも日本でも、コロナ感染者数が増えて大変なことになる時に不謹慎ですが、「コロナさまさま」なことがあります。母教会の自治医大前キリスト教会の礼拝等にZoomで参加できることです。

日曜日は、Zoomで日本の礼拝に参加したあと、現地の教会に行きます。そして水曜日は聖書を読む会に参加後、朝食をと

Zoomで母教会の礼拝に出席する
近藤医療宣教師(中央左)=8月29日



り病院に行きます。夕方仕事が早く終われば、夜の聖研祈禱会に参加できます。このことが、本当に大きな恵みになっており、霊的な戦いの武器になっています。感謝です。

Prayer request

1. コロナから私もジョイランクラーの人たちも守られるように。
2. ドクター・タポシュの回復のために。会話はまだ十分に通じないのですが、少しずつ進歩しているように思えます。
3. ドクター・ルーシーが強められますように。ドクター・タポシュに代わり院長となりました。仕事量、責任もかなり多くなっています。
4. 今持っているビザは11月28日で切れます。その後の働きに関してみどころが示されるように。
5. 母と姉の救いのために。

編集後記 「主の使いは 主を
恐れる者の周りに陣を
張り 彼らを助け出される。」

(詩篇 34篇7節)

人口約1億7000万人のバングラデシュ。情報によると、新型コロナの感染者は、一進一退を続けながら累計で約150万人に膨れ上がっています。ワクチン接種については「外国人は後回し」とか。どんな時でもそうですが、陣を張って守ってくださる神に信頼するしかありません。(ひ)

連絡先: 0329-0403

栃木県下野市医大前3-7-1

近藤医療宣教師を支える会
(自治医大前キリスト教会内)

Tel&Fax: 0285-44-7564

ホームページ

<http://megmedicalmission.c.ooco.jp/>

Email: meg0_02007@yahoo.co.jp

郵便振替払込

口座番号: 00110-1 番号: 91993

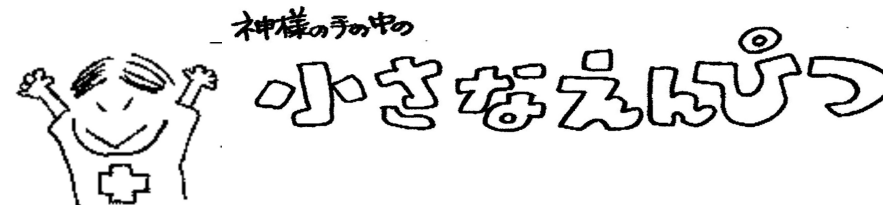
Liebenzell Mission
International of Japan



近藤医療宣教師ニュースレター NO. 35

2021. 8. 29

発行: 近藤医療宣教師を支える会



わたしは神の手の中にある小さな鉛筆の
うなものです。神が考え、神が書くのです。
鉛筆は何もしません。鉛筆はただ使われる
だけです。
(マザー・テレサ)



主が あなたのために御使いたちに命じて あなたのす
べての道で あなたを守られるからだ。

彼らはその両手にあなたをのせ あなたの足が石に打ち
当たらないようにする。
(詩篇 91:11-12)

みなさまお元気ですか? バングラデシュに戻って来て、
6か月たちました。ここもコロナの変異株が増え、いったん
減っていた感染者数が激増しており、行動制限がしかれて
います。1か月ほど前には、学生たち21人が感染しましたが、
重症にはいたりませんでした。今はほとんどの学生は実家
に帰されています。隣の家の奥さんも感染しました。その
中で私はワクチンも接種できていないのですが、不思議に
守られています。お祈り感謝します。

付き添いさん、その後

産婦さんの付き添いさんになろうと思ってバングラデシュに戻ってきました。産婦さんがひとり放置されて、うめいている状況を何とかしたいと思ったからです。コロナのための自宅隔離の後、3月初めから病院に行き、できるだけ分娩室に足を運んでいました。そして、産婦さんたちを励まし、一緒に歩き、食事をするように勧めることによって、経膣分娩に至る産婦さんたちを見て、なかなか面白いと思っていました。でも中には、帝王切開に早くしておけば、赤ちゃんの状態がもっと良かったらというケースも経験するようになりました。

色々な経験をしているうちに、人工破膜の問題にぶつかりました。人工破膜は、赤ちゃんを覆っている羊膜を機械的に破ることによって、進行を早めようとするものです。WHOでは、あまり早い時期にすることは、勧めていません。でもここでは、かなり早い時期にしています。そのことによって、羊水の混濁があって、赤ちゃんの状態が悪いことが考えられ、帝王切開にする判断ができることもありますし、



ジョイランクーラで子どもを診る
近藤医療宣教師(7月23日)

実際にその後分娩が急速に進行することもあります。でも破膜をすることによって、赤ちゃんの頭がうまく回旋できない状態になることもありうるのです。赤ちゃんはお母さんの骨盤の中を回旋しながら降りてきます。でもうまく回旋できないと、一生懸命お母さんを励まして、歩かせても、赤ちゃんが無理な体勢で降りてきてしまい、結局生まれたとしてもかなり負担の多い状態で生まれてくるか、進行せず帝王切開に至るかになりえます。この問題にぶつかった

とき、下手に産婦さんを励ますことはできないと思いました。かといって人工破膜をもっと遅らせるべきだと主張するほどの経験も私は持っていません。

ということで、外科の仕事が増えてきて分娩室に行く時間が取れなくなっていることもあって、今付き添いさんは休止中です。でも、私が産婦さんたちを

励ましていたのを見て、助産師さんたちが経膣分娩に対して以前より積極的になってきているように思います。この間は、「昨日6人経膣分娩になったんです！」と嬉しそうに報告してくれました。彼女たちに、少しでもインパクトが与えられたのだらうと思っています。

Dr.タポシュのいない手術室で

ドクター・タポシュが働けないので、今まで彼が症例の半分以上をやっていた胆石の手術は、ほとんど私がやるようになっていきます。といっても症例数はそれほど多くないので、負担にはなっていません。

その他の整形外科的なことには、私はあまり手を出していません。これは看護師さんたちでかなりの部分をカバーできています。例えば、骨折のギプス固定や関節炎の関節内注射などは前師長のヘニカ・ディディや、現師長のシウリ・ディディが全く問題なくやっています。きのうは、以前日本から来てくれた整形外科のチームがやった骨折の整復後のワイヤー抜去を、ヘニカ・ディディがやりました。かなり難しい仕

事だったと思うのですが、(レントゲン透視で見ながらやれば良いのですが、その装置はありません。ほとんどを手の感触に頼ります。)みごとにやりとげました。彼女たちは、長年、ドクター・タポシュと一緒に働いてきたので、こういうことができるのです。これが、シニア・ドクターの少ないこの病院が成り立っている秘訣なのでしょう。



回復しつつあるDr.タポシュ(左)と、病院長に就任し、運営の責任を担うDr.ルーシー(中央)

支 出	近藤恵宣教師支援金	0	0	0
	年金・支える会経費	500	1,000	19,596
	LMJ事務局費	18,000	40,000	32,000
	次月繰越金	2,090,920	2,452,529	2,730,233
	合 計	2,434,090	2,493,529	2,781,829

		5 月	6 月	7 月
収 入	近藤恵宣教師指定	175,500	176,600	※※355,500
	雑収入	0	0	0
	前月繰越金	2,730,233	1,964,568	2,124,168
	合 計	2,905,733	2,141,168	2,479,668
支 出	近藤恵宣教師支援金	※916,205	0	0
	年金・支える会経費	7,960	0	0
	LMJ事務局費	17,000	17,000	25,000
	次月繰越金	1,964,568	2,124,168	2,454,668
	合 計	2,905,733	2,141,168	2,479,668

※1-6 月分生活費 580,000、夏期ボーナス 150,000、公的活動費 186,205

※※指定献金 355,500 内 100,000 →ジョイランクラ病院への献金

献金者お名前 (2021 年 2 月～7 月)

(教会) 生田丘の上キリスト教会、岩井キリスト教会、小川キリスト教会、かもい聖書キリスト教会、観音寺聖書教会、キリスト教朝顔教会、キリスト教たんぼぼ教会、神栖めぐみキリスト教会、甲府キリスト教会、佐倉福音キリスト教会、シオン・キリスト教団蒲田教会、自治医大前キリスト教会、湘南のぞみキリスト教会、湘南ライフタウンキリスト教会、昭和町キリスト教会、白岡福音キリスト教会、白金キリスト教会、白根福音教会、菅生キリスト教会、高松シオン教会、筑西キリスト教会、土浦めぐみ教会、長津田キリスト教会、中山キリスト教会、東村山キリスト教会、日立福音キリスト教会、本郷台キリスト教会、前橋キリスト教会、松山聖書教会、宮崎北聖書キリスト教会、宮園キリスト教会、武蔵台キリスト福音教会、結城福音キリスト教会、横浜永谷キリスト教会、横浜緑園キリスト教会

(個人) 有山敏、池田美栄子、池田百合子、稲垣博史、井上稲子、岩崎佳枝、浦松睦実、香川聖恵、國井昭男、栗本節子、斎藤潔・ますみ、斉藤眞木子、榊原洋子、桜井美津子、佐羽内玲子、自治医大前キリスト教会有志、四宮義文・牧子、芝田寛二・正子、白方誠彌、高橋洋子、田中美智子、田村真、鶴木悠紀子、出水誠二、中井靖子、中村充・みちる、新垣家族、福田敦子、福寫智恵子、松本民雄・亜紀子、三浦健治、三井悠示・恵美子、宮岡佳子、安田是和、山崎昭宏・良江、山田健治・悦子、湯川勉、湯澤邦夫 (敬称略)



尊い献金をありがとうございました。